

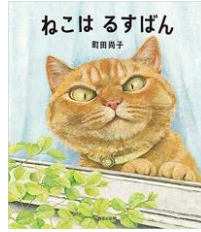
としょかん じどうしつ
図書館の児童室コーナーにある

オススメの本を紹介しします。



としょかん町のバス

イクタケ マコト/絵 横山 寿美代/監修
少年写真新聞社 E/シヨ/19-31



ねこはるすばん

町田 尚子/作
ほるぷ出版 E/ホル/20-27

としょかん町には、じゅんかんバスが走っています。
出発は、0の中央広場です。1丁目、2丁目・・・9丁目と
まわり、0の中央広場にもどってきます。

それぞれの地区には特徴があり、0の中央広場は、じょうほう
についてのちしきがつまった場所です。1丁目は、心地区です。考
え方やこころのはたらきがわかる地区です。

この町の地区の特徴がなんと、としょかんが使われているぶんる
い法に似ているのです。

この町にくわくなれば、としょかんに行っても困ることがない
ですね。(小学校低学年向け)

本屋のミミ、おでかけする！

もり たまき さく
森 環/作
あかね書房 913/アカ/20



地下にある本屋さんで、おじいさんのお手伝いをしているミミ。彼
女は本が大好きで、本のことならなんでもおまかせ！です。「こんな
本を、さがしているんだけど」とたずねると、ミミはすぐ、ピッタリ
の本をさがしてくれます。

でも実は、ミミは外にでかけるのが大きい・・・。ある日、仲良
しの絵かきさんがケガをして、お店に来られないという手紙を受け
取ります。そこで一大決心！！絵かきさんのお見舞いに行くことに
しました。ドキドキのおでかけの始まりです。

新しい出会いや発見によって、ミミが成長していく心温まる
物語です。(小学校中学年向け)

ボランティアさんのオススメ本



りゅうが あります

ヨシタケ シンスケ/作・絵
P H P 研究所 E/ヒエ/15-26

みなさん、いろんなクセがありますよね。
ハナをほじる、ツメをかむ、びんぼうゆすりをするなど、むいし
きのうちにしてしまうこと。この絵本はその時の子どものりゅうや
いいわけをユーモラスな絵とじゆうなはっそうで表現しているの
で、親子でみていただきたい。

ごはんをこぼしちゃう、イスのうえでジタバタしちゃう、じっと
していられなくて走りまわる、高い所にのぼりたくなる、ストロー
をぶくぶくしちゃう、よごれた手をズボンや服でふいちゃうという
子どももあるある。作者の子どもを見る目があたたかく、ほほえまし
い、ほのぼのとした絵本です。(朗読サークル秋桜)

家をせおって歩く

むらかみ さとし さく
村上 慧/作
福音館書店 70/イ/19



アーティストの村上 慧さんは、2014年4月から自作した発泡
スチロールの家を背負って、歩いて日本各地を移動しながら生活し
ています。

家に住むために一番大切なことは、眠ることです。その為には、
各地で家を置く土地を探す必要があります。公園や道路に勝手に家
を置くことはできません。台風の時、普通家が身を守ってくれま
すが、この家の場合は自分が家を守ってやらないといけません。

自作した家ってどんな家？ 持ち物は何？ 食事はどうするの？
トイレやお風呂は？ 何だか大変そうだけど楽しそう。住む場所を
変え、住み方を作ってしまう小さな家とのくらしを教えてください
ます。(小学校高学年向け)

きのこの本



きのこはなぜ光るのでしょうか？



光るいきものキノコ
大場 裕一/著 宮武 健仁/写真
くもん出版 47/キ/15

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時
休館日：月曜日(休日の場合は、その直後の休日でない日)
電話：(0568)85-6800
小学校のホームページからもアクセスできるよ
ホームページにあるバナーをクリック！ →

